

インターナショナル・レスキュー・システム・ユニット（IRS-U）への 感謝状授与について

国際レスキューシステム研究機構（IRS）では、Search and Rescueにおいて人に代わって瓦礫内に閉じ込められている要救助者の発見や災害現場の情報収集を行うためレスキューロボット・システムの研究開発を推進しています。

しかし、米国などとは異なり、ロボットシステムの多くは実践運用経験を積む事が難しいのが現状です。IRSでは消防関係者はじめ自治体などの協力の下、実証実験及び訓練を重ねています。隊員からのロボットの性能や操作性、システムなどの評価を研究者にフィードバックし、災害現場での実用化を目指し更なる開発を進めています。これら最先端の技術と全国の救助救急活動に関わる隊員とが融合し一つのシステムとして構築する必要があると考えられています。



世界有数の地震国であり、ロボット先進国を誇る日本がロボットシステムを搭載したチームを率いて要救助者を救い出す——その実現のために消防・救助・救急隊員の編成するボランティアによるレスキューチーム「インターナショナル・レスキュー・システム・ユニット」（IRS-U）を06年3月に発足し始動しました。これまでに様々な災害を想定した実証実験を重ね、ロボットシステムが実質的に消防救助活動の仕組みと連携し、的確かつ実践的に対応することを目指しています。



今回、IRSは、レスキューロボット・システムの実用化に向けて、多大な貢献を寄与しているIRS-Uの活動に対し、感謝の意を表し、感謝状を授与することにいたしました。

感謝状授与式

2008年1月16日（水）神戸国際会議場 403会議室にて



IRS-Uのメンバー